

# 多職種で考える地域連携緩和ケア研修会

高知県では、地域医療連携をより質の高いものにしていけるよう、病院・在宅療養支援診療所・訪問看護ステーション・薬局・居宅介護支援事業所・訪問介護事業所等の地域医療連携・在宅緩和ケアに関わる職種の方々を対象に、多職種で考える地域連携緩和ケア研修会を開催しています。

今年は、「人生の最終段階における意思決定」をテーマに、年3回の研修を計画しており今回は第2回となります。

今回は、人生の最終段階における意思決定に関わる事例から、在宅療養に対する課題や障壁について考えます。グループワークで、どのような介入や対応が出来るのかを話し合うことで、多職種でフォローし合いながら患者さんやご家族を支えることが出来ればと考えています。

在宅緩和ケアに関心のある方をはじめどなたでも、より多くの皆さまのご参加をお待ちしています。

**日時：平成30年11月18日(日) 14時～17時 (開場13時30分)**

**場所：近森病院 管理棟 3階 (高知市北本町1丁目1-28)**

**対象者：緩和ケアに関心のある方をはじめどなたでも**

**定員：60名 ※申し込みは先着順になります。**

(定員を超えた場合はお断りする場合がありますので、事前申し込みにてお願いします。)

**参加費：無料**

**申込方法：申込書に記入のうえFAXでお申し込みください。**

**申込期限：平成30年11月12日(月)**

14:10～14:40 事例紹介

事例1「家族の意向を忖度した入院決定」

松本 務 (あおぞら診療所高知潮江 医師)

事例2「“帰ってこられると迷惑”と言われた事例」

宮崎 弥沙 (細木病院 看護師)

事例3「キーパーソンを見誤っていた事例」

山本 詩帆 (近森病院 看護師)

14:40～16:10 グループワーク

16:10～16:40 発表

**主催：高知県・高知県在宅緩和ケア推進連絡協議会**

〈問い合わせ先〉

高知県在宅緩和ケア推進連絡協議会事務局 (高知緩和ケア協会事務局)

電話：080-4039-1579 担当/川澤、尾崎

高知県健康政策部健康対策課

電話：088-823-9674 担当/矢野、林